

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス樺		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日 ~ 2024年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日 ~ 2024年 10月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間となっている。	清掃活動をしっかり行い、過ごしやすい環境作りを行っている。そして、道具の置き場所等を分かりやすく配置し、あまり変更しすぎないことを心掛けている。	限りのある場所で、環境を整えるためには工夫が大切であり、活動に合わせたレイアウトを簡単にできるように物を増やしすぎないようにしていく。
2	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	面談の際に普段の様子をしっかりと伝え、褒めるところをしっかりと褒め、情報共有を行う。だからこそ、今後の必要な支援についての話が伝わりやすいと考察する。	今後も子どもたちの現状や保護者様のニーズに合わせ、社会に出るまでに必要とされる、より多くの経験の積み重ねが出来るような活動の提供を行う。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている。	毎日のHUGの更新だけではなく、月1回の公式LINEでの行事計画の配信や年3回の保護者会や行事予定を発行している。また、適宜必要な時の連絡を行っている。	子どもと活動の一環でSNSの配信を一緒に取り組んでいき、ひらけた事業所を目指す。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	会社主催のイベントで、地域の子との交流はあるが、十分ではない。	事業所独自の交流会をもてるように検討していく。
2	保護者の方やご兄弟に参加していただける行事の認識が低い。	季節ごとの保護者会や体育祭等の行事を行っているが、保護者様やご兄弟にご参加いただける行事という認識が薄い。保護者の方に周知できていない。	保護者の方やご兄弟に参加頂ける年間行事の周知を徹底していく。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない。	事業所として、保護者の方からの相談に対して、面談等を通して助言を行っているが、家族で参加出来る研修会についての情報提供については十分では無かった。	今後は、事業所として、家族を支援できるプログラムに関するご案内や研修会等の情報提供を積極的に行えるよう情報収集を行っていく。